

科目名	美術 I	単位数	2 単位	学科・学年	全学 科 1 年	
使用教科書	高校生の美術 I (日本文教出版)			副教材等		
学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばします。					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまり(一つの題材を学習のひとまとまり)ごとに 下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	意欲的・主体的に美術の活動に取り組み、その喜びを味わい、創造的な表現と鑑賞の能力を身に付けようとしている。				
	②芸術的な感受と表現の工夫	感性をはたらかせて、自然や身の回りの造形物、教科書等の作品から、よさや美しさを感じ取り、豊かに発想し、創造的に表現を構想・工夫している。				
	③創造的な表現の技能	材料・用具を生かして創造的な表現をするために必要な技能を身に付けている。				
	④鑑賞の能力	美術作品のよさや美しさを味わい、作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然との関連などを理解している。				
		評価方法\観点	①	②	③	④
	学習状況観察	◎	○	○	○	授業時に実施
	活動記録表	◎	-	-	○	自己評価を含む
	課題レポート	○	○	○	◎	ワークシート/小テストを含む
	作品	○	◎	◎	-	表現題材の成果として
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
○作品制作等の活動が授業中に終わらない場合、可能な限り放課後も美術教室を利用できるようにしますので、納得のいくまで試行錯誤してください。 ○進路を踏まえた学習相談にも個別に対応しますので、積極的に活用しましょう。						
履修上の注意	○この授業は表現・鑑賞のいずれであっても皆さん自身が行う活動を中心に進めていきますので、授業時毎に示す学習のめあてを手がかりに、積極的に活動に取り組みましょう。 ○学習活動の成果は作品やレポートに表れますが結果だけを重視するのではなく、表現や鑑賞の過程での「振り返り」も大切にしてください。 ○教室や多くの道具類はほかの生徒と共有しています。掃除・片付けを徹底してください。 ○この授業で扱う題材は、1年間に行う他の題材と関連づけて構成されていますので、関連の意味を理解し、以前の学習内容を生かし、また後の学習に生かすことを心がけて学習に取り組んでください。					

学期	月	学習内容	時数	学習のねらい	学習活動（評価方法）
1	4	0・オリエンテーション	1	○学習内容や心構えについて理解する。 ○人類の芸術活動に興味を持つ。	(学習状況観察)
	5	1・鑑賞 絵画	2	○テーマやイメージなど絵画の内容に興味を持ち主体的な鑑賞ができる。	○教科書の鑑賞 (ワークシート) (学習状況観察)
		2・表現 絵画 ○遠近法	12	○教科書にある作品を鑑賞し、遠近法の種類と理論を知る。 ○空間をよく観察し、空間把握能力を培う。	○作図練習 ○風景の写実絵画表現 (学習状況観察) (作品) (小テスト)
		3・表現 絵画 ○鉛筆デッサン	6	○モチーフをよく観察し、形態のよさや面白さを感じる。 ○モチーフをよく観察し、陰影を表現できる。 ○ハッチングによる表現を学び、立体感を表現できる。	○ハッチング練習 (学習状況観察) ○卓上鉛筆デッサン (学習状況観察) (作品) (レポート)
		4・表現 絵画 ○色彩の基礎	6	○色彩の理論を学び、目的や効果を考えた配色ができる。 ○絵の具の特性を理解し、用途や目的にあった画材の選択ができる。 ○絵の具の特性を学び、表現の幅を広げる。	○構成・色彩学の講義 ○色相環の制作 (学習状況観察) (作品) ○点描画の制作 (学習状況観察) (作品)
2	9	5・表現 デザイン ○ロゴタイプ制作	8	○教科書や身近なところにあるデザインを鑑賞し、その意図や工夫、効果などを読み取れる。 ○目的や見る人を想定し、目的や効果を考え、形や色彩などを工夫できる。 ○友人の制作した作品を鑑賞し、よさや美しさ、意図や工夫などを読み取れる。	○鑑賞ワークシート (学習状況観察) ○レタリング (学習状況観察) (作品) ○ロゴタイプの制作 (学習状況観察) (作品) (レポート)
	10	6・表現 金属工芸 ○ペーパーナイフ作り	14	○金属の特性を理解し加工することができる。 ○目的にあったデザイン・機能を考え、計画的に制作する。 ○加工の難しい金属を扱うことによる発見や、物作りの喜びを味わう。	○プロダクトデザインの鑑賞 (学習状況観察) (レポート) ○材料の切断と成形・研磨 (学習状況観察) (活動記録) (作品) (レポート)
	11				
12	7・鑑賞 ○画家と作品	5	○時代や作者の異なる美術作品を鑑賞する。 ○様々な作品を鑑賞しそれらに共通するテーマやイメージに興味を持ち、より深い鑑賞ができる。	○美術史概要の講義 (学習状況観察) ○作品に対する調べ学習 (学習状況観察) (活動記録) (レポート)	
3	1	8・表現 絵画 ○自画像	14	○自分自身の内面にあるイメージを視覚化する。 ○画面の構成や色彩などについて深く考え、意図的かつ効果的に表現する。 ○材料・用具・技法の適切な使用と工夫をする。	○イメージをもとにした下絵づくり (学習状況観察) ○着色 (学習状況観察) (作品) (レポート)
	2				
		9・1年間のまとめ	2	○1年間の学習を振り返り、自身の成長を確認する。	○ワークシート (学習状況観察)